

何でも読もう会

書物名	『線は、僕を描く』 砥上裕將	開催 日時	2023.12.4	出席者	8名
<p>作者は現在39歳の水墨画家。本作品が小説家としてのデビュー作で、新人公募賞である講談社の「メフィスト賞」を受賞。</p> <p>内容は、両親を交通事故で一瞬にして亡くした高校生（その後大学生）の「心の闇」、それが水墨画との出会いにより徐々に開かれていく過程を描いている。</p> <p>水墨画の大家にふとしたきっかけで見いだされた主人公が、わずか1年で急成長を遂げ、しかも水墨画の本質が心の内面にあること、それが墨で描く「線」に如実に現れるという主張である。</p> <p>恋あり、友情ありの青春小説。その限りでは大したことではないし、文章も素人っぽいのはやむを得ないが、水墨画という現在ではマイナーなジャンルに焦点を当て、その技術論、奥深さを説明するくだりは面白いとの意見が多かった。</p>					